

(参考)

② 再編・ネットワーク化に係る基本的枠組に同意した病院一覧

| No. | 都道府県名 | 団体名 | 病院名 | 再編・ネットワーク化の内容(要約) |
|-----|-------|------------|--------------------|--|
| 1 | 北海道 | 札幌市 | 市立札幌病院 | 市立札幌病院静療院の一般精神(成人)部門を本院(市立札幌病院)に統合。 |
| 2 | 北海道 | 札幌市 | 市立札幌病院静療院 | |
| 3 | 北海道 | 上川町 | 上川町立病院 | 連携構想(道策定)に基づき、平成21年10月に療養病床を廃止して、介護老人保健施設を併設する診療所へ転換。 |
| 4 | 北海道 | むかわ町 | むかわ町鶴川厚生病院 | 広域化・連携の方策として医療機器等の共同利用など7つの合意項目を実施。 |
| 5 | 北海道 | 日高町 | 日高国保病院 | 連携構想(道策定)に基づき、平成21年4月から有床診療所へ移行。(36床→19床:▲17床) |
| 6 | 北海道 | 日高町 | 門別国保病院 | 連携構想(道策定)に基づき、平成24年3月廃止となる介護療養病床(介護24床、医療6床)の転換について、平成21年度中に検討。 |
| 7 | 北海道 | 平取町 | 平取町国保病院 | 連携構想(道策定)に基づき、規模のスリム化を実施。平成22年度から療養病床を▲24床縮小(44床→20床)、一般病床を+14床増床(31床→45床)、全体で▲10床削減。 |
| 8 | 北海道 | 新冠町 | 新冠国保病院 | 連携構想(道策定)に基づき、平成21年5月より55床→18床(▲37床)の有床診療所に転換。 |
| 9 | 北海道 | 新ひだか町 | 新ひだか町立静内病院 | 連携構想(道策定)に基づき、静内病院は病床数及び診療科目の見直し、平成23年度に病床を削減。(80床→58床程度) |
| 10 | 北海道 | 新ひだか町 | 新ひだか町立三石国保病院 | |
| 11 | 青森県 | 五所川原市 | 国民健康保険五所川原市立西北中央病院 | 周辺5自治体病院の医療機能を再編成し平成25年度末までに中核病院1、サテライト病院2、サテライト診療所(無床)2とする再編により規模縮小予定。 現行:5病院(954床)→3病院2診療所(644床) ▲310床 |
| 12 | 青森県 | 公立金木病院組合 | 公立金木病院 | |
| 13 | 青森県 | 鱒ヶ沢町 | 鱒ヶ沢町立中央病院 | |
| 14 | 青森県 | つがる市 | つがる市立成人病センター | |
| 15 | 青森県 | 鶴田町 | 国民健康保険鶴田町立中央病院 | |
| 16 | 青森県 | 十和田市 | 十和田市立中央病院 | |
| 17 | 青森県 | 三沢市 | 三沢市立三沢病院 | |
| 18 | 青森県 | 六戸町 | 六戸町国民健康保険病院 | |
| 19 | 青森県 | 中部上北広域事業組合 | 公立七戸病院 | |
| 20 | 青森県 | 北部上北広域事務組合 | 公立野辺地病院 | |
| 21 | 岩手県 | 岩手県 | 中央病院 | 「岩手県公立病院改革推進指針」に基づき、各第二次保健医療圏において、県立病院間(高度専門医療や救急医療を担う基幹病院地域の入院医療を担う地域病院、地域のプライマリケアを担う地域診療センター)の役割分担と連携を一層進める。この中で、平成21年4月に5附属診療所を無床化(△95床)し、沼宮内病院(60床)は平成22年4月の無床診療所化を検討。 |
| 22 | 岩手県 | 岩手県 | 沼宮内病院 | |
| 23 | 岩手県 | 岩手県 | 中部病院 | |
| 24 | 岩手県 | 岩手県 | 遠野病院 | |
| 25 | 岩手県 | 岩手県 | 東和病院 | |
| 26 | 岩手県 | 岩手県 | 胆沢病院 | |
| 27 | 岩手県 | 岩手県 | 江刺病院 | |
| 28 | 岩手県 | 岩手県 | 磐井病院 | |
| 29 | 岩手県 | 岩手県 | 千厩病院 | |
| 30 | 岩手県 | 岩手県 | 大東病院 | |
| 31 | 岩手県 | 岩手県 | 南光病院 | |
| 32 | 岩手県 | 岩手県 | 大船渡病院 | |
| 33 | 岩手県 | 岩手県 | 高田病院 | |
| 34 | 岩手県 | 岩手県 | 釜石病院 | |
| 35 | 岩手県 | 岩手県 | 大槌病院 | |
| 36 | 岩手県 | 岩手県 | 宮古病院 | |
| 37 | 岩手県 | 岩手県 | 山田病院 | |
| 38 | 岩手県 | 岩手県 | 久慈病院 | |
| 39 | 岩手県 | 岩手県 | 二戸病院 | |
| 40 | 岩手県 | 岩手県 | 一戸病院 | |
| 41 | 岩手県 | 岩手県 | 軽米病院 | |

(参考)

② 再編・ネットワーク化に係る基本的枠組に同意した病院一覧

| No. | 都道府県名 | 団体名 | 病院名 | 再編・ネットワーク化の内容(要約) |
|-----|-------|------|---------------------------------|---|
| 42 | 岩手県 | 奥州市 | 奥州市総合水沢病院 | 「岩手県公立病院改革指針」に基づき、各二次保健医療圏における役割分担と連携を推進。 ○総合水沢病院 ・病床数削減 ・非常勤診療科の休止 ・病床削減 282床→199床 ○国保まごころ病院 ・病床の増床 48床→60床 |
| 43 | 岩手県 | 奥州市 | 奥州市国保まごころ病院 | |
| 44 | 岩手県 | 藤沢町 | 国保藤沢町民病院 | 公的病院及び民間病院と機能連携を深める。 |
| 45 | 宮城県 | 宮城県 | 地方独立行政法人宮城県立こども病院 | 県が策定した総合的な周産期・小児医療のネットワークの構成病院として、診療機能の充実を図りつつ、病診・病病連携の強化。 |
| 46 | 宮城県 | 石巻市 | 石巻市立病院 | 石巻市立病院は亜急性期の病床整備。 牡鹿病院の一般病床を40床から25床に削減。(H21) 塩竈市立病院の一般病床を161床から123床に削減。(H21) |
| 47 | 宮城県 | 石巻市 | 石巻市立雄勝病院 | |
| 48 | 宮城県 | 石巻市 | 石巻市立牡鹿病院 | |
| 49 | 宮城県 | 塩竈市 | 塩竈市立病院 | |
| 50 | 宮城県 | 登米市 | 登米市立佐沼病院 | 機能・役割を明確化。佐沼病院の病床数を300床から平成23年度には228床に削減。(一般168床、回復リハ60床) 米谷病院を平成23年4月に無床診療所化。 よねやま病院を平成23年4月に無床診療所化。 登米診療所を平成20年4月に無床診療所化。 |
| 51 | 宮城県 | 登米市 | 登米市立米谷病院 | |
| 52 | 宮城県 | 登米市 | 登米市立豊里病院 | |
| 53 | 宮城県 | 登米市 | 登米市立よねやま病院 | |
| 54 | 宮城県 | 登米市 | 登米市立登米診療所 | |
| 55 | 宮城県 | 大崎市 | 大崎市民病院本院 | 新病院の整備に伴い、事業規模の見直し。 老朽化等が著しいため新病院を整備し、平成25年度中の開院を目指す。(466床から500床へ再編) 鳴子温泉分院を170床から140床に削減。 岩出山分院は老朽化等が著しいため新病院を整備し、平成23年度中の開院を目指す。(95床から40床へ再編) 鹿島台分院は介護型療養病床から医療型療養病床への転換を検討。 田尻診療所は本院からの診療応援体制の強化。 |
| 56 | 宮城県 | 大崎市 | 大崎市民病院鳴子温泉分院 | |
| 57 | 宮城県 | 大崎市 | 大崎市民病院岩出山分院 | |
| 58 | 宮城県 | 大崎市 | 大崎市民病院鹿島台分院 | |
| 59 | 宮城県 | 大崎市 | 大崎市民病院田尻診療所 | |
| 60 | 宮城県 | 女川町 | 女川町立病院 | 平成18年9月 石巻日赤病院と病病連携の協定締結。 平成19年3月 石巻市立病院と病病連携の協定締結。 |
| 61 | 山形県 | 山形県 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 | 山形県立日本海総合病院と酒田市立酒田病院を統合再編し、地方独立行政法人化。 日本海総合病院は528床→648床に増床、急性期医療等の役割を担い、酒田医療センターは400床→110床に減少、回復期医療等の役割を担う。 |
| 62 | 山形県 | 酒田市 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 酒田医療センター | |
| 63 | 山形県 | 鶴岡市 | 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 | 疾患療養型病院として、地域の医療機関と連携して、地域連携クリティカルパスの拡充や医療情報のIT化によるネットワーク作りを推進。 |
| 64 | 福島県 | いわき市 | いわき市立総合磐城共立病院 | 総合磐城共立病院と常磐病院の診療機能を統合。 |
| 65 | 福島県 | いわき市 | いわき市立常磐病院 | 総合磐城共立病院と統合後の常磐病院は、精神医療及びリハビリテーション機能を、後継医療機関に引き継ぐ。 |
| 66 | 東京都 | 東京都 | 駒込病院 | 都立病院を医療機能により「広域基幹病院」、「センター的機能病院」、「地域病院」の三つの類型に整理したうえで、再編を推進。 地域の公的病院間のネットワークを維持・継続していくとともに、公立3病院においては、さらなる連携強化を図る。 |
| 67 | 東京都 | 東京都 | 豊島病院 | |
| 68 | 東京都 | 東京都 | 府中病院 | |
| 69 | 東京都 | 東京都 | 清瀬小児病院 | |
| 70 | 東京都 | 東京都 | 八王子小児病院 | |
| 71 | 東京都 | 東京都 | 松沢病院 | |
| 72 | 東京都 | 東京都 | 梅ヶ丘病院 | |
| 73 | 静岡県 | 浜松市 | 県西部浜松医療センター | |
| 74 | 静岡県 | 浜松市 | 浜松市リハビリテーション病院 | |
| 75 | 静岡県 | 浜松市 | 浜松市国民健康保険佐久間病院 | |
| 76 | 静岡県 | 掛川市 | 掛川市立総合病院 | 掛川市立総合病院と袋井市立市民病院との統合による新病院建設に向け、一部事務組合を設立、平成24末の開院を目指す。 |
| 77 | 静岡県 | 袋井市 | 袋井市立袋井市民病院 | |
| 78 | 愛知県 | 名古屋市 | 東部医療センター東市民病院 | 平成20年4月に5病院を2グループと1つの病院に再編し、医師等の弾力的な活用を実施。守山、城西病院は稼働病床数を段階的に削減。 |
| 79 | 愛知県 | 名古屋市 | 東部医療センター守山市民病院 | |
| 80 | 愛知県 | 名古屋市 | 西部医療センター城北病院 | |
| 81 | 愛知県 | 名古屋市 | 西部医療センター城西病院 | |
| 82 | 愛知県 | 名古屋市 | 緑市民病院 | |

(参考)

② 再編・ネットワーク化に係る基本的枠組に同意した病院一覧

| No. | 都道府県名 | 団体名 | 病院名 | 再編・ネットワーク化の内容(要約) |
|-----|-------|-----------------|----------------|---|
| 83 | 愛知県 | 津島市 | 津島市民病院 | 厚生連海南病院との連携(医療連携の覚書締結H20.12 研修医指導強化等のための医師派遣H21.1 診療科別の医師連絡会議設置H21.1)、公立尾陽病院との連携。(看護師交流の開始H20.10) |
| 84 | 愛知県 | 公立尾陽病院組合 | 公立尾陽病院 | 名古屋第一赤十字病院と病病連携の協定を交わし、医療連携強化、平成21年度両病院で医療連携の強化策、将来的な地域医療体制を検討するための検討会を設置して検討。 |
| 85 | 三重県 | 志摩市 | 国民健康保険志摩市民病院 | 志摩市立前島病院と志摩市立大王病院を統合し、平成20年4月1日から志摩市民病院となり、志摩市立前島病院は、志摩市立前島診療所として再生し、指定管理者へ運営委託。 |
| 86 | 滋賀県 | 彦根市 | 彦根市立病院 | 圏域内の民間病院及び診療所と病病・病診連携の推進。 |
| 87 | 滋賀県 | 公立甲賀病院組合 | 公立甲賀病院 | 地域連携バスを進め圏域内での医療機関との連携ネットワークを推進。 |
| 88 | 滋賀県 | 伊香郡病院組合 | 湖北総合病院 | 市立長浜病院や長浜赤十字病院との病病連携を推進。 |
| 89 | 大阪府 | 大阪市 | 大阪市立総合医療センター | 4市民病院の再編・ネットワーク化を実施し、公的医療機能を充実。 |
| 90 | 大阪府 | 大阪市 | 大阪市立北市民病院 | |
| 91 | 大阪府 | 大阪市 | 大阪市立十三市民病院 | |
| 92 | 大阪府 | 大阪市 | 大阪市立住吉市民病院 | |
| 93 | 大阪府 | 泉大津市 | 泉大津市立病院 | 地域基幹病院として民間病院へ診療応援を実施。周産期及び婦人科の病病連携について覚書を締結。 |
| 94 | 大阪府 | 貝塚市 | 市立貝塚病院 | 産婦人科は、平成20年4月から市立泉佐野病院と機能分担を実施。 |
| 95 | 大阪府 | 泉佐野市 | 市立泉佐野病院 | 産婦人科は、平成20年4月から市立貝塚病院と機能分担を実施。 |
| 96 | 大阪府 | 松原市 | 市立松原病院 | 市立松原病院を閉院、松原徳洲会病院へ病床移管。 |
| 97 | 大阪府 | 和泉市 | 和泉市立病院 | 泉大津市立病院と産科婦人科の連携ネットワークを推進。 |
| 98 | 兵庫県 | 神戸市 | 市立医療センター中央市民病院 | 市が出資する3病院も含め、5病院の役割分担や診療科、医療機能の再編を推進。 |
| 99 | 兵庫県 | 神戸市 | 市立医療センター西市民病院 | |
| 100 | 兵庫県 | 相生市 | 相生市民病院 | 西播磨圏域公立病院ネットワーク化検討会議における協議により、救急医療体制を整理し、それに伴う公立病院の役割を明確化。 |
| 101 | 兵庫県 | 赤穂市 | 赤穂市民病院 | |
| 102 | 兵庫県 | 宍粟市 | 公立宍粟総合病院 | |
| 103 | 兵庫県 | たつの市 | たつの市立御津病院 | |
| 104 | 兵庫県 | 三木市 | 三木市民病院 | 神戸大学の構想を受け、三木市民病院と小野市民病院の統合を検討。 |
| 105 | 兵庫県 | 小野市 | 小野市民病院 | |
| 106 | 兵庫県 | 三田市 | 三田市民病院 | 小児・周産期について神戸市内の医療機関と連携強化。 |
| 107 | 兵庫県 | 香美町 | 公立香住病院 | 但馬圏域全体の医療を急性期と慢性期の対応に分けて再編。 |
| 108 | 兵庫県 | 公立豊岡病院組合 | 公立豊岡病院 | ○豊岡病院、八鹿病院 ・24時間365日の急性期医療を担当するとともに、慢性期医療を担う病院の外来機能等を支援。 ○香住病院、日高医療センター、出石医療センター、梁瀬医療センター、和田山医療センター、村岡病院、浜坂病院 ・慢性期医療を担当。 ・和田山医療センター(リハビリテーション機能)、日高医療センター(人工透析機能、眼科センター機能)は特色ある機能を担う。 |
| 109 | 兵庫県 | 公立豊岡病院組合 | 公立豊岡病院日高医療センター | |
| 110 | 兵庫県 | 公立豊岡病院組合 | 公立豊岡病院出石医療センター | |
| 111 | 兵庫県 | 公立豊岡病院組合 | 公立朝来梁瀬医療センター | |
| 112 | 兵庫県 | 公立豊岡病院組合 | 公立朝来和田山医療センター | ・朝来市域の病院(梁瀬医療センター、和田山医療センター)は一体的に運用。 ・村岡病院は、村岡区の4診療所の診療体制維持を支援。 |
| 113 | 兵庫県 | 公立八鹿病院組合 | 公立八鹿病院 | |
| 114 | 兵庫県 | 公立八鹿病院組合 | 公立村岡病院 | |
| 115 | 和歌山県 | すさみ町 | 国保すさみ病院 | 南和歌山医療センターとの手術応援等相互派遣、紀南病院との連携強化。 |
| 116 | 和歌山県 | 串本町 | 国保直営串本病院 | 平成22年度に国保直営串本病院(106床)と国保古座川病院(60床)を(仮称)串本町立病院(130床)に統合。 |
| 117 | 和歌山県 | 串本町 | 国保古座川病院 | |
| 118 | 和歌山県 | 御坊市外五ヶ町病院経営事務組合 | 国保日高総合病院 | 医師会との連携により救急診療や小児救急診療の実施、医療圏内において国立和歌山病院、北裏病院、北出病院との病・病連携を実施。 |
| 119 | 岡山県 | 岡山市 | 岡山市立金川病院 | 60床→30床に建替を行い、(独)国病機構岡山医療センターに運営を委託。 |

(参考)

② 再編・ネットワーク化に係る基本的枠組に同意した病院一覧

| No. | 都道府県名 | 団体名 | 病院名 | 再編・ネットワーク化の内容(要約) | |
|-----|-------|------------|------------------|--|--|
| 120 | 広島県 | 尾道市 | 尾道市立市民病院 | 県立瀬戸田病院の移管を受け入れ、尾道市立市民病院の有床診療所に再編。(県立瀬戸田病院H21.3.31廃止) | |
| 121 | 広島県 | 尾道市 | 尾道市公立みつぎ総合病院 | | |
| 122 | 広島県 | 庄原市 | 庄原市立西城市民病院 | 急性期医療と慢性期医療の棲み分けによる機能分担を行い、地域連携の充実と遠隔医療等による医療連携の強化。 | |
| 123 | 山口県 | 萩市 | 萩市民病院 | 結核医療について、(独)国病機構山口宇部医療センターとの連携のもと、結核病床(15床)を廃止。 | |
| 124 | 山口県 | 山陽小野田市 | 山陽小野田市民病院 | 山陽市民病院を小野田市民病院へ機能を統合し、1病院体制へ移行。 | |
| 125 | 山口県 | 山陽小野田市 | 山陽市民病院 | | |
| 126 | 徳島県 | 徳島県 | 中央病院 | 徳島大学病院の間で取り組んでいる総合メディカルゾーン検討協議会において、連携強化・機能分担について合意。 | |
| 127 | 徳島県 | 徳島県 | 三好病院 | 医療圏における適正な医療を確保するため、三好病院、市立三野病院、町立半田病院の連携を推進する協定を締結。 | |
| 128 | 徳島県 | 三好市 | 三好市国民健康保険市立三野病院 | | |
| 129 | 徳島県 | つるぎ町 | 町立半田病院 | | |
| 130 | 香川県 | 香川県 | 香川県立中央病院 | 県立がんセンターと県立中央病院を統合。 | |
| 131 | 香川県 | 香川県 | 香川県立がん検診センター | | |
| 132 | 香川県 | 香川県 | 香川県立丸亀病院 | 県立丸亀病院は医療機能を特化するとともに平成23年末までに6病棟から4病棟にダウンサイジングを行う。 | |
| 133 | 香川県 | 香川県 | 香川県立白鳥病院 | | |
| 134 | 香川県 | 香川県 | 香川県立白鳥病院附属津田診療所 | 津田診療所は平成20年度末で廃止。 | |
| 135 | 香川県 | 高松市 | 高松市民病院 | 高松市民病院と香川病院を統合して高松市新病院を整備して、塩江病院を附属医療施設とする再編。 | |
| 136 | 香川県 | 高松市 | 高松市香川病院 | | |
| 137 | 香川県 | 高松市 | 高松市塩江病院 | | |
| 138 | 佐賀県 | 伊万里市 | 伊万里市立市民病院 | 伊万里市と有田町で構成する伊万里・有田地区医療福祉組合を立ち上げ、伊万里市民病院と有田共立病院の統合により新病院を整備。 | |
| 139 | 佐賀県 | 有田町 | 有田共立病院 | | |
| 140 | 長崎県 | 長崎県 | 精神医療センター | 長崎県と島原地域、五島地域及び対馬地域の5市1町が新たに公営企業法を全部適用する「長崎県病院企業団」を設立して病院の運営を行う。 | |
| 141 | 長崎県 | 長崎県 | 島原病院 | | |
| 142 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 五島中央病院 | | |
| 143 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 富江病院 | | |
| 144 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 奈留病院 | | |
| 145 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 上五島病院 | | |
| 146 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 有川病院 | | |
| 147 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 奈良尾病院 | | |
| 148 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 対馬いづはら病院 | | |
| 149 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 中対馬病院 | | |
| 150 | 長崎県 | 長崎県離島医療圏組合 | 上対馬病院 | | |
| 151 | 長崎県 | 長崎市 | 市民病院 | | 野母崎病院、琴海病院を平成21年度中に民間譲渡し、残る病院は22年度の地方独立行政法人化を検討。 |
| 152 | 長崎県 | 長崎市 | 成人病センター | | |
| 153 | 長崎県 | 長崎市 | 野母崎病院 | | |
| 154 | 長崎県 | 長崎市 | 琴海病院 | | |
| 155 | 長崎県 | 西海市 | 西海市立病院 | 平成21年度限りで病院を廃止し、19床以下の有床診療所として民間譲渡。 | |
| 156 | 熊本県 | 熊本市 | 熊本市立熊本市民病院 | 熊本市民病院と附属熊本産院を一体化。 | |
| 157 | 熊本県 | 熊本市 | 熊本市立熊本市民病院付属熊本産院 | | |
| 158 | 大分県 | 大分県 | 大分県立三重病院 | 県立三重病院を無床診療所とし、おがた病院は199床に増床して平成22年度に統合新病院を開院予定。 | |
| 159 | 大分県 | 豊後大野市 | 公立おがた総合病院 | | |